

1 国語に関する調査

【特長】

- ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことがよくできている。我が国の言語文化に関する事項が身に付いている。
- ・図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することがよくできている。言葉だけでなく図や表を用いて書き表すことのよさに気付いている。

【課題】

- ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することに課題がある。叙述を基に書き手があげている事例について着目できるようにする。
- ・話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題がある。日常生活において相手の話を聞きながら相手の考えを想像し自分の考えと比べる学習を行っていくことが必要である。

2 算数に関する調査

【特長】

- ・はかりの最小目盛りが5グラムであることを理解し、はかりの目盛りを読むことができている。授業の中で数学的活動を行うことは今後も継続していく。
- ・示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することはよくできている。

【課題】

- ・目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかに課題がある。適切なグラフを選択しデータの特徴や傾向を捉えて判断しその理由について表現する学習活動を行っていく。
- ・台形の意味や性質についての理解に課題がある。図形の置き方を変えても、図形の性質は変わらないことを整理する学習を充実させる。

3 理科に関する調査

【特長】

- ・赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて結果や問題に対するまとめを基に、他の条件での結果を予想して、表現することができている。既習の実験結果を生かし、新たな学習へつなげることができている。

【課題】

- ・水の温まり方について、問題に対するまとめを導きだす際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することに課題がある。実験方法が問題解決に結び付いていたかを検討することに取り組む必要がある。

4 児童質問紙の結果より

【特長】

- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと回答した児童が多い。他者を思いやる気持ちが育まれている。
- 国語の授業や算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと回答した児童が多い。授業で学んだことを日常の学校生活全体の中で振り返ったり意味付けをしたりしてきた成果だと考えられる。

【課題】

- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組むことや、分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することに課題がある。自分自身で課題に向けて解決するための方法を考えたり、相談したりする活動を取り入れていく。
- 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることに課題がある。自信を付けさせるために、成功体験を増やす学習活動を取り入れていく。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 学校研究で掲げている「自ら考え主体的に表現する力」を育てるため、児童が興味関心を示す授業づくりを学校全体で取り組むことにより、児童の主体的な学習へつなげていく。
- レポート作成や課題提出、発表資料作成、調べ学習、意見交流等、授業の様々な場面において学習効果が高まるように学年に応じて ICT 機器を活用していく。
- 学習した漢字を日常の教育活動の中で繰り返し活用し、正しい使い方や定着を図るように指導していく。
- 一人一人が自己肯定感をもち、学校生活を送ることができるよう、学級活動や縦割り活動等、全ての教育活動の中で失敗を恐れずに何事にも挑戦できるよう支援していく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 朝食を毎日食べ、同じくらいの時間に起床する等、規則正しい生活リズムができていますので、引き続きご家庭でのご支援をよろしくお願いします。
- 自分で計画を立てて学習に取り組めるよう学校でも支援していきます。家庭学習の習慣が定着するよう引き続きご協力をお願いします。
- 地域には子どもたちの学びの場がたくさんあり、地域の行事を楽しみにしている児童も多く見られます。今後とも地域とふれあう機会を大切にしていきます。